

道と川の駅「花ロードえにわ」の活用に向けたサウンディング型市場調査
 現地見学会及び事前説明会における質疑応答集

平成 30 年 3 月 29 日開催

質問1	<p>道と川の駅「花ロードえにわ」の運営にあたり、運営事業者と恵庭市または(仮称)まちづくり会社が契約を締結するとの説明であったが、(仮称)まちづくり会社とはどのような組織をイメージされているのか。</p>
回答1	<p>花の拠点エリアの全体を総括する組織として、地元の関係団体・事業者などを中心に構成したいと考えている。恵庭市が直接的に(仮称)まちづくり会社に出資して経営に参画することは想定していないが、恵庭市の意向が反映できるような体制は整えたいと考えている。</p>
質問2	<p>民間事業者としては、将来的なリスクなどを考える上で、契約の相手方が「恵庭市(公共)」なのか、「民間事業者((仮称)まちづくり会社)」なのかが非常に大きな検討要素となるが、今後どのように考えられていくのか。</p>
回答2	<p>①道と川の駅運営事業者の決定時期と、②(仮称)まちづくり会社の設立時期がどのようなスケジュールとなるかが判断要素となる。</p> <p>仮に②が先行する場合は、(仮称)まちづくり会社と道と川の駅運営事業者が直接契約を締結することができる。</p> <p>しかし、①が先行した場合は、現に存在しない会社((仮称)まちづくり会社)と運営事業者が契約を締結することはできない。</p> <p>このような場合は、恵庭市と運営事業者が「将来的には(仮称)まちづくり会社と運営事業者との契約関係に移行する」趣旨の協定や覚書等を交わすことで、恵庭市が契約に基づく運営事業者としての権利を担保したいと考えている。</p>
質問3	<p>花の拠点には、(仮称)花の拠点センターハウスや農畜産物直売所「かのな」など複数の施設が整備される予定であり、これらの施設の機能が重複しないよう配慮する必要があると共に、各施設の連携が重要であると考えている。恵庭市が考えられている各施設の機能と連携について、ご教示いただきたい。</p>
回答3	<p>各施設の機能については、資料 2-1「花の拠点整備事業の基本設計について(2018.3)」に示す考え方にに基づき、整備や施設運営者の公募を進めて行きたいと考えている。</p> <p>なお、道と川の駅「花ロードえにわ」と(仮称)花の拠点センターハウスの飲食については、恵庭市としては、道と川の駅「花ロードえにわ」は幹線道路に接しており、道路施設としての機能も有していることから、比較的気軽に短時間で飲食したい、もしくはテイクアウトしたい方を中心とした飲食機能を、(仮称)花の拠点センターハウスはガーデンエリアなどを楽しみながら、比較的ゆったりとした時間を過ごしながら食事を楽しみたい方を中心とした飲食機能を、とイメージしている。</p> <p>ただし、恵庭市のイメージに囚われることなく、各事業者が考える市場動向や蓄積されたノウハウなどにより、道と川の駅「花ロードえにわ」に最も適した提案をお願いしたい。</p>

質問4	<p>多目的交流物産館(現 農畜産物直売所「かのな」)の説明で、「建物を元の状態に戻して」という表現が使われていたが、その意図を教えてください。</p>
回答4	<p>平成 19 年にオープンした多目的交流物産館は、入込客数および売上が順調に伸びたことも有り、手狭となった施設を順次増築して対応してきたところであるが、平成 32 年の農畜産物直売所「かのな」の新築移転に併せて増築部分の建物は全て解体・撤去し、新たな施設として利用していきたいと考えている。</p> <p>なお、オープン当時の建物については、資料 5 に図面を添付しているのでご参照いただきたい。</p> <p>また、民間資金による建物の増築による活用や、全ての施設を解体して新たな施設を建設することで新たな魅力を生み出すという考え方もあるので、いろいろな可能性についてご検討いただき、ご提案いただければと考えている。</p>

質問5	<p>道と川の駅の施設について、ガーデンエリアへの動線を確保するため、恵庭市の工事としてインフォメーションコーナーと 24 時間トイレに出入口を設けるとの説明であったが、この出入口の位置は決定か、それとも提案することも可能か。</p>
回答5	<p>新設する出入口の位置はあくまでも想定であり、資料 2-1「花の拠点整備事業の基本設計について(2018.3)」におけるゾーニングを考慮して、別の提案をしていただくことも可能である。</p>